

第1回介護給付適正化推進研修会（H29/8/7 開催） 参加状況及びアンケート結果

1 研修会概要

日時・場所：平成29年8月7日（月曜日） AP西新宿6階N+O+P会議室

内容：① 7期計画における介護給付適正化、東京都における介護給付費の状況（東京都）

② 7期計画策定及び給付適正化の取組における国保連合会の各種システムの活用（国保連）

③ 給付データの分析及び給付適正化の取組（千代田区）

2 参加者数及びアンケート回収状況

参加者数：51区市町村110名（21区25市5町村）

アンケート提出者：96件（回収率87.3%）

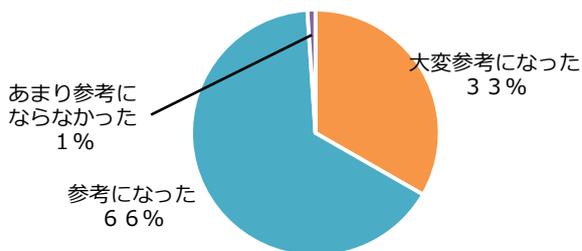
3 アンケート結果

（1）研修の開催時期等について

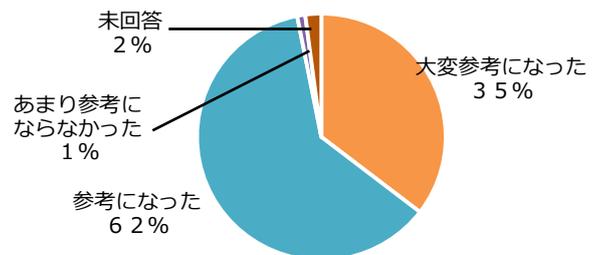
	適切	不適切	特になし	未回答
開催時間	82	3	10	1
開催場所	84	0	10	2

（2）研修内容について

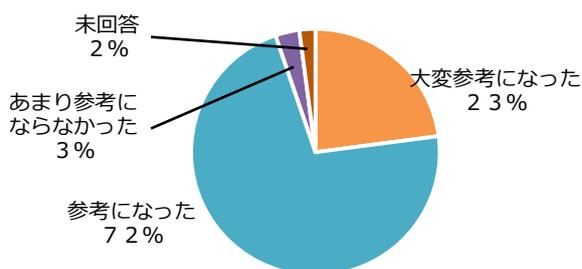
都説明①（第7期計画における
介護給付適正化）



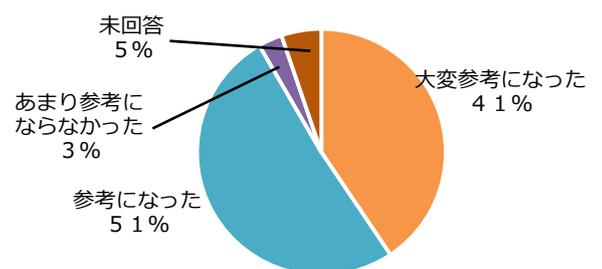
都説明②（都における
介護給付費の状況）



国保連の各種システムの活用



千代田区事例発表
（給付分析と適正化）



(3) 第7期計画における介護給付適正化（方向性、適正化事業ごとの優先順位）について

- 保険者として考える方向性
 - ・ 検討中の保険者が多数（38 保険者、77.6%）。
 - ・ 一方、介護保険事業計画に介護給付適正化を掲載している／掲載予定としている保険者も少数ある（5 保険者）。
- 適正化事業ごとの優先順位
 - ・ ケアプラン点検を最優先とする保険者が多数。
 - ・ 一方、費用対効果の高いものや実効性の高いものを優先、都の定める標準目標を第一優先といった保険者もある。
- その他、保険者が検討している方向性
 - ・ 給付費削減に向けた具体的かつ実行性のある取組の推進
 - ・ 見える化システム等を活用した地域分析・現状の課題整理
 - ・ 給付費の高いサービスの適正／不適正の検証及びその対策を計画に盛り込む
 - ・ 給付適正化の事業規模拡大・評価手法の改善
 - ・ 地域内の圏域別の利用状況や要介護度状況の分析といった、より詳細な給付分析を行う

(4) 都の設定する標準目標等について考慮してほしいこと

- 保険者ごとの個別性（地域特性、保険者規模、人員体制等）を考慮した目標を希望する保険者が多数。
 - ・ あまり具体的すぎず、幅を持たせた目標としてほしい。
 - ・ 指導ではなく、事業者にとって支援となるような目標を希望。
 - ・ 地域包括との連携状況やケアマネジメントの理解度の浸透状況等、保険者ごとの事情を踏まえた目標を希望。
 - ・ 小規模保険者のように少ない人員、限られた社会資源でも達成可能な（高すぎない）目標としてほしい。
 - ・ 数値目標などの具体的な目標は難しい。給付費通知などは費用対効果が出しにくく、実施／未実施でしか表せない。
- 一方、具体的な目標を示す場合について、以下のような意見がある。
 - ・ 具体的目標（実施方法や数値など）の記載方法について、例示や説明があるとよい。
 - ・ 算出根拠や計算式等、統一された数値目標があると他保険者比較に活用できる。
 - ・ 保険者に期待する最低ラインを示してもらえると、あまり推進できていない保険者は取り組みやすい。
- その他の意見・要望は下記のとおり。
 - ・ 目標達成のためにどのような取組が必要になるのか、手段や方法など具体的に提示していただきたい。そのための技術提供を併せてお願いしたい。